

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会 第4部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	中央区の食文化・歴史のPR
事業目的・概要	特に若い世代をターゲットに、魅力ある中央区の食文化や歴史を認知してもらうきっかけとなるよう、学生との連携も視野に入れながら老舗を取材・紹介する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【令和6年度実施事項】 ○若い世代へのヒアリング(R6.4月) 老舗紹介を行うにあたり、専門学校や大学に通う学生より、老舗に対するイメージや効果的な紹介方法等について意見をもらい、敷居が高いイメージのある老舗に対して若者が興味を持ち、老舗を通して地域の歴史や食文化を知るきっかけとなる老舗紹介リーフレットを制作することとした。 ○老舗取材(R6.5～6月) 若い世代の意見を参考に、各委員が持ち寄った複数の老舗から10店舗をピックアップし、「お店を継いだ経緯」、「創業当時から変わったこと・変わらないこと」、「お店を長く続けていく秘訣」など、共通の質問項目を決めて委員自ら取材を行った。一部店舗については、大学生にインタビュアーとして協力してもらった。 ○リーフレット形態、全体構成決定(R6.7～8月) リーフレットは気軽に持ち運びできるA3八つ折のコンパクトサイズ(A6)にすることとし、区のインターンシップの大学生の意見も参考としながら、読み進めたいくなるレイアウト構成や若者に興味を持ってもらえるようなタイトル(「ヤングの老舗めぐり」)を決定した。 ○原稿作成、レイアウト・デザイン決定(R6.9～12月) 各店舗の担当委員が作成した取材記事や、老舗に関連した地域の歴史や文化等に関するコラムの原稿について加除修正を行った。また、細部に渡り色使いやデザインについて検討を重ね、より見やすく、読みやすい紙面づくりを行った。 ○区内学校・公共施設等へ配布(R7.1～3月) 完成したリーフレット3,000部は、掲載店舗や区内の大学、専門学校へ委員が直接持参したほか、区内の市公共施設等へ送付し、計90か所以上へ配布を依頼した。その後、追加配布の要望が複数寄せられたことから、増刷を行った。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	○第4部会は、地域コミュニティ協議会のほか、所管分野である「歴史・文化／産業／まちなみ」に関わる公共的団体からの選出者、公募委員により構成している。 ○これまで老舗に対して敷居が高いと感じていた若い世代が、取材やリーフレット制作に関わることで、老舗に対して興味や親しみをもち、老舗を訪れてみたいと思うきっかけづくりに寄与することができた。掲載店舗からは感謝の言葉とともに「商品を地方発送する際にリーフレットを同封したい」という声や、「リーフレットをきっかけに若者の来店が増えた」との報告もあった。今後も、リーフレットを手にとった若者が気軽に老舗を訪れ、その魅力を体感することを期待する。 ○老舗情報に関連して、区内の歴史・文化を紹介するにあたり、委員が主体的に参考文献や根拠資料の収集を行い、地域の魅力を再発見するきっかけとなった。また、読み手に対しては、老舗情報だけではなく、湊町としての魅力や地域の歴史的変遷を発信することができた。 ○リーフレットは、レトロなデザインで統一し、持ち運びしやすいコンパクトなサイズ(A6サイズ)で気軽に手に取りやすくなったことが功を奏し、配布直後から追加配布を求める声が続いたため、配布開始から1ヶ月経たずして増刷が必要となり、より多くの若者に地域の歴史や食文化に興味を持つきっかけを提供することができた。
備考	